

◎検体（FCM解析用）送付のお願い

※輸送中の安全確保と検体維持のため、以下の点についてご協力をお願いします。

1 送付いただく検体について

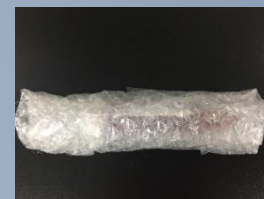
・FCM解析に使用する検体（末梢血、骨髓液等）は、感染性の有無にかかわらず、「バイオハザード検体」（写真4参照）としての取り扱いをお願いします。

2 採血管の取り扱い（写真1～3）

- ・採血管（抗凝固剤はEDTAまたはヘパリン）をお使いください。
- ・採血管に患者IDと採血日の記載があることをご確認ください。
- ・採血管のキャップがしっかり閉まっており、外側に血液が付着していないことをご確認ください。



↑写真1（EDTA・ヘパリン）



↑写真2



↑写真3

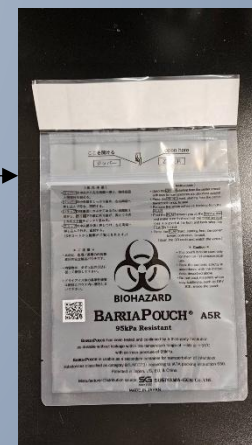
3 バイオハザード容器への収納

- ・採血管は「バイオハザード対応の密封容器」に入れてください。（写真4参考）
- ・容器内には万が一に備えて吸収材（ペーパータオル等）を入れてください。
- ・容器の中で採血管が動かないよう、緩衝材などを入れてください。

4 外箱への梱包（写真5～6参照）

- ・密封容器を、丈夫な外箱（段ボールまたは緩衝材付きの封筒）に入れてください。
- ・外箱の中でも検体が動かないよう、緩衝材などで固定してください。

アマゾン、
モノタロウで購入可



↑写真4

5 温度と保管環境

・通常は常温（18～22度*1）での配送ですが、猛暑日など、高温が予想される場合、保冷剤をご活用いただくか、冷蔵便にてお出してください。

6 発送方法のお願い

・追跡可能な配送手段（ヤマト便、ゆうパックなど）をご利用いただき、事前に「送り状番号」をお知らせください。（写真7）

- ・原則として採血当日の発送をお願いします。
- ・土日・祝日や長期休日前の到着を避けてご発送ください。



↑写真5



↑写真6

7 同封書類について

- ・当ラボ専用の受託解析依頼書（検体ID 採血日を要記載）
- ・個人情報が必要最小限でお願いします



↑ 写真7 ↑

*1（参考）感染性物質
の輸送規則に関するガ
イダンス

★問い合わせ先（送付先）

IMSUT臨床フローサイトメトリー・ラボ
〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1
東京大学医科学研究所 一号館東側地下
TEL:03-5449-5765
E-mail:clin-fcm@ims.u-Tokyo.ac.jp